

<医療機関のみなさまへ>

病診連携による生涯教育研修会開催

第 49 回病診連携による生涯教育研修会を下記のとおり開催させていただきます。
たくさんのご参加をお待ちしております。

日時 : 2023 年 9 月 9 日(土) 14 時～
会場 : 都シティ大阪天王寺
内容 : 第 1 部 シンポジウム
「新型コロナウイルス感染症～地域での振り返りと 5 類移行後の現状、そして今後～」
第 2 部 大阪鉄道病院全科代表挨拶
第 3 部 懇親会(立食)

<地域のみなさまへ>

健康講座は「禁煙」をテーマに

第 208 回健康講座を下記のとおり開催させていただきます。
ご興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

日時 : 2023 年 8 月 22 日(火) 18 時～約 1 時間
講師 : 大阪鉄道病院 呼吸器外科 鈴木啓史
会場 : 大阪鉄道病院 3 階講堂
定員 : 約 60 名(予約不要・無料)
共催 : 一般社団法人 大阪市阿倍野区医師会
内容 : 「『知らんけど』ではすまへんで、タバコの真実
やめられない人、やめたくない人、やめさせたい人、
みんなで考えませんか？」



お詫びと訂正 「メディカルぽっぽ vol.19(2023 年 6 月号)」掲載内容の一部誤りについて
弊誌「メディカルぽっぽ vol.19(2023 年 6 月号)」におきまして、
掲載内容の一部に誤りがございました。ご迷惑をお掛けしましたことを
深くお詫びし、右の通り訂正させていただきます。

【P4 新任医師のご紹介】
(誤)脳神経外科 医長 木村裕子
(正)脳神経内科 医長 木村裕子

“私達は人間性を尊重し、謙虚で誠実な医療を提供します”

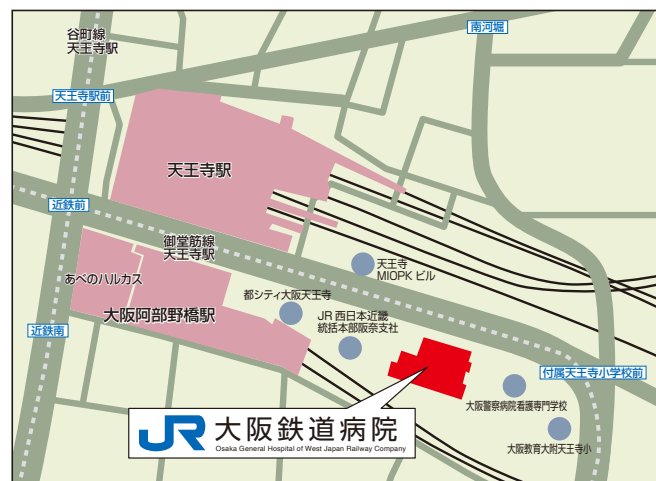
【基本方針】

安全で良質な医療を実践し、信頼される病院を目指します。
多機能型急性期病院としてチーム医療を推進し、継続的な医療を提供します。
地域に根ざした病院としての役割を認識し、住民の皆さんの健康増進に努めます。
地域医療機関との連携を重視し、きめ細かな医療に努めます。
専門性を追求し、医療レベルの向上と人材の育成に努めます。

JR 大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company

〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町 1 丁目 2-22
TEL.06-6628-2221 (代表) FAX.06-6628-2287 (代表)
地域医療連携室 FAX.06-6628-4707
ホームページ <http://www.jrosakahosp.jp>

受付時間/午前 8 時 30 分～午前 11 時 00 分 診療開始/午前 9 時 00 分～
休診日/土日祝・年末年始 (12 月 30 日～1 月 3 日)



メディカル

よりよい医療の始発駅

ぽっぽ vol.20
2023.8

診療科 UPDATE

泌尿器科

ドクターインタビュー 部長 米田 幸生
ドクター&スタッフインタビュー
副部長 森本 和也/医員 安田 麻衣子
看護師 松井 敦子

おくすり基礎講座

ようこそ臨床検査へ

Q&A 「地域医療連携室」

新人看護師のご紹介

ぽっぽニュース



JR 大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company



高齢化とともに増加する 泌尿器科疾患

当科では、泌尿器科疾患全般に幅広く対応しています。近年は高齢化の進展にともなって泌尿器科疾患も増加の一途をたどっています。大阪鉄道病院の患者さんにおいても、それは例外ではありません。特に尿路生殖器腫瘍、尿路結石症、排尿障害、尿路感染症の方は多く、患者さんの大半を占めるまでになっています。

排尿という日常生活の重要な部分に影響が出てしまうのが泌尿器科疾患の特徴です。私たち大阪鉄道病院泌尿器科は、地域の医療機関と先進治療に取り組む大病院とのいわば中間にある地域の中核病院として、多くの患者さんのご要望にお応えすることを使命と考えています。天王寺駅前という立地も、かかりつけ医の先生からのご紹介の場合も便利にお越しいただけます。必要以上に構えることなく、お気軽に検査や診察を受けていただけたらと思います。

いつも患者さんの立場に立って

泌尿器科の疾患は、近年の医療技術の向上とともに、簡単な検査で早期発見が可能になるとともに、治療も大きく進歩し、多様化しています。当院ではガイドラインに基づく治療を前提に、できるだけ多くの選択肢を提示するようにしています。その上で、手術や最新医療が必要と判断した患者さんは大阪公立大学医学部附属病院をはじめとする適切な提携病院に速やかに紹介するなど、病状に応じて最善の治療に取り組める体制を整えています。

泌尿器科

ガイドラインに基づきつつ 患者さんの思いに寄り添う 治療を。

ささいな不調でも、QOL（生活の質）に大きく関わる泌尿器科疾患。

当科では他医療機関との連携も含め多くの選択肢を提示し、お一人お一人の患者さんにとって最良の治療の実践を目指しています。

ドクターインタビュー

部長 米田 幸生

（よねだ ゆきお）

日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

ここで私たちが大切にしているのは、治療中・治療後の QOL（生活の質）までトータルにとらえたメリットとデメリットをフェアにお伝えして、患者さんが納得して受けていただける治療と一緒に考えていくことです。その意味では、常に最先端の治療を選択することがベストであると言い切れません。

たとえば前立腺がんの患者さんは、現在では設備のある病院でロボットアシストの手術を受けていただくことが第一選択肢ですが、ご高齢で手術を受けるのは負担が大きいと思われる場合には、低侵襲の放射線治療を選ぶことがあります。

また尿路結石においても、現在は尿管鏡を使用したレーザーによる結石除去術が主流となっていますが、より低侵襲な対外衝撃波結石破碎術（ESWL）をあえて選択することもあります。レーザーは3泊4日の入院が必要となりますが、ESWL の場合1泊2日、リピートの患者さんなら日帰りも可能です。近年、結石治療では縮小傾向にある ESWL ですが、当院では現役の治療法として十分に機能しています。



安心してご相談いただける 環境を

排尿のトラブルや泌尿器についての悩みはデリケートな問題だけに受診や相談をためられる方も少なくありませんが、早期に異常を発見し、治療することが何よりも大切です。当院ではその患者さんにとって最適の治療を導き出すためにも、フランクにコミュニケーションできる関係性をつくることを大切にしています。外来は限られた診療時間ではありますが、患者さんお一人お一人ときちんと向き合える医療を、チーム一丸となって実践してまいります。医師・コメディカル含め、気さくで明るい雰囲気なので、リラックスして診療を受けていただける環境が醸成できていると自負しています。

私自身、当院に赴任して19年が経ちました。おつきあいの長い患者さんも多く、これもお一人お一人から信頼をいただき、最適な医療を提供できてきた証といえるかもしれません。



一方、増え続ける泌尿器科疾患に対して私たちにできることには限界があるのも確かです。医師として究極の願いは泌尿器科疾患で悩む患者さんを減らしていくことです。受診への「最初の一步」は決意が必要な人も多いと思いますが、少しでもお悩みの点がありましたら、まずは身近な内科医の先生でもよいので、ご相談することをおすすめします。症状を軽んじて疾患を放置せず、適切な医療を受けて快適な日々を送っていきましょう。

まずはご自身の症状チェックから 受診される患者さんに、まず記入をお願いするアンケートの一部です。排尿障害で受診を検討するひとつのめやすとしてご活用ください。

＜排尿障害チェックシート＞ こんなお悩みは、ありませんか？ここ1か月の様子をお答えください。

質問ごとに当てはまる点数に○をつけてください。

質問	症状	頻度	点数
1	朝起きてから寝る時までに、何回くらい尿をしますか？	7回以下	0
		8～14回	1
		15回以上	2
2	夜寝てから朝起きるまでに、何回くらい尿をするために起きますか？	0回	0
		1回	1
		2回	2
		3回以上	3
3	急に尿がしたくなり、我慢が難しいことがありましたか？	なし	0
		週に1回より少ない	1
		週に1回以上	2
		1日1回くらい	3
		1日2～4回	4
4	急に尿がしたくなり、我慢できずに尿を漏らすことがありましたか？	1日5回以上	5
		なし	0
		週に1回より少ない	1
		週に1回以上	2
		1日に1回くらい	3
		1日2～4回	4
		1日5回以上	5

6点以上は中等症、12点以上は重症となります。ぜひ受診のきっかけに。

○をつけた数値を合計してください。

点

泌尿器科

ドクター&スタッフインタビュー

現在、常勤医師3名・非常勤医師4名の診療体制を確立。
看護師をはじめとするコメディカルスタッフとの意思疎通も良好で、
対応力が高く患者さんにやさしいチーム医療を実践しています。

副部長 森本 和也

(もりもと かずや)

日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本ミニマム創泌尿器内視鏡学会施設基準医、日本透析医学会専門医、日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医



実績を重ねる経尿道的手術

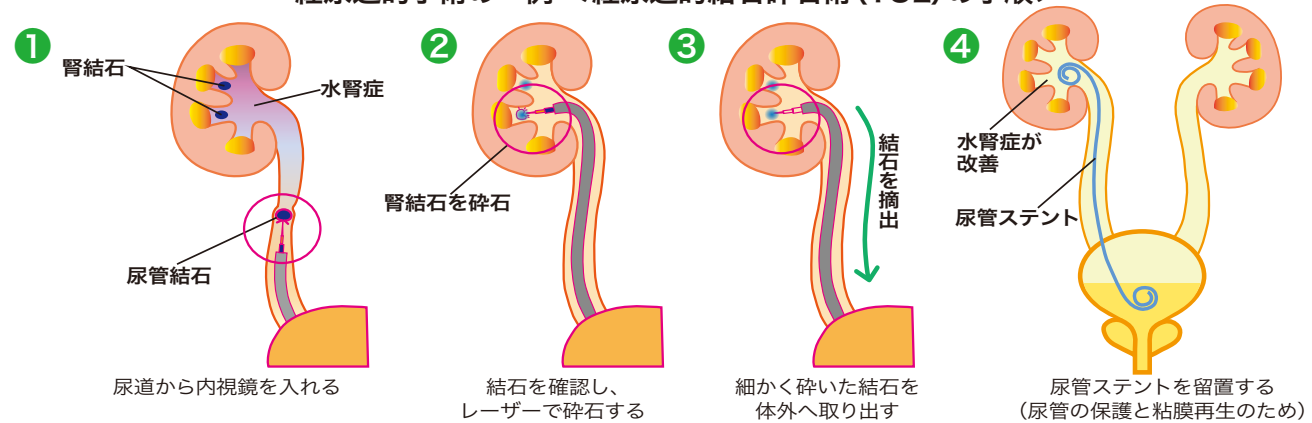
当院での経験も、もうすぐ丸6年になります。手術の腕を磨くとともに、後進の育成にも努めてきました。その間にも、医学技術はめまぐるしく進歩し、医療の質もどんどん向上しています。

近年では、多くの泌尿器科の手術は尿道から内視鏡を挿入して行う経尿道的手術が一般的となっています。当院では豊富な手術経験に加え、細く柔軟でより挿入しやすい軟性尿管鏡や新型モニターの導入により、さらに安定した手技を提供できるようになりました。「尿道から内視鏡を挿入して行う手術」と聞くと、不安を感じられる患者さんもいらっしゃいますが、手術は麻酔下で行うので痛みはなく、おなかを切開しないので傷口がなく、早期にもとの生活に復帰することができます。どうぞ安心しておまかせください。

一方、従来行ってきた腎がんや膀胱がんの腹腔鏡手術は、現在ではロボット支援による手術が主流となっています。当院は現時点では未導入のため、手術適応の患者さんは提携の病院にご紹介することになりますが、この場合もしっかりと情報共有し、不安なく治療を継続していただけるよう徹底しています。当科ではどんな場合もチーム一丸となって患者さんファーストを貫いています。体力や気力が十分でない高齢の患者さんたちが手術をためらわれる場合は、別の手段を考えるなど、可能な限り患者さんに寄り添う医療の実践は、当科ならではの魅力と自負しています。

これからも良好なチームワークのもと、安全安心を第一に、患者さんにご満足いただける医療を提供していきたいと願っています。

経尿道的手術の一例 <経尿道的結石碎石術(TUL)の手順>



主な検査・治療実績 (件数/2021年度)

<主要診断群分類>	<件数>
膀胱腫瘍	68
前立腺の悪性腫瘍	58
上部尿路疾患	48
前立腺肥大症等	22
腎臓または尿路の感染症	12
下部尿路疾患	10
水腎症等	8
腎盂・尿管の悪性腫瘍	7
腎、泌尿器の疾患（その他）	6
男性生殖器疾患	4
その他	31

<手術>	<件数>
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）	50
経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	27
経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用）	22
経尿道的尿管ステント留置術	73
膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術	9
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術（一連につき）	5
経皮的腎（腎盂）瘻増設術	4
尿道悪性腫瘍摘出術（内視鏡）	4
経尿道的尿路結石除去術（その他）	4
経尿道的尿管狭窄拡張術	4

医員 安田 麻衣子

(やすだ まいこ)

患者さんからお伝えいただく情報を大切に

2年間、大学病院での勤務を経て、今年4月より当院に赴任しました。終日外来で診療を行うのは初めての経験ですが、前任の畠中医師の患者さんを引き継ぎ、先輩医師やコメディカルのみなさんに助けてもらいながら日々がんばっています。

もともと泌尿器科を選んだのは、診断から治療まで一元的に診られることと多岐にわたる手技が経験できるので今後専門を考える場合にも選択肢が幅広いのも魅力でした。今はどんなことにも真摯に向き合い、学びを深めていきたいと思っています。生活習慣と症状が密接に関わる診療科でもあるので、生活改善で症状が快方に向かうことも少なくありません。丁寧なヒヤリングで不調の原因になっている習慣を探り出すことで、薬だけに頼ることのない改善の方向性を示すことができればいいなと思っています。そのためにも良いコミュニケーションを心がけていきたいと思っています。

また、これまで全国的に泌尿器科の医師は女性が少ない状態が続いていましたが、それが最近少しずつ改善されています。出産後の尿漏れや、過活動膀胱など、女性にも日常生活に支障をきたす悩みをお持ちの方は少なくありません。どうしても泌尿器科は男性が多いイメージのため、女性にとっては足をはこびづらいかもしれませんが、そんな気持ちも、医師が同性なら少し緩和できるのではないのでしょうか。受診をためらっていたが同性の医師なら話しやすいと思われる方は、ぜひその旨をかかりつけ医の先生にお伝えください。私もご期待に添えるよう、信頼していただける医師を目指して精進してまいります。



看護師 松井 敦子

(まつい あつこ)

患者さんにとって快い、配慮あるコミュニケーションを

泌尿器科の看護で大切なことは、排尿自立へのサポートです。病気や手術によってカテーテルを用いなければならない方や、尿失禁、過活動膀胱など、さまざまな悩みを抱えておられます。また、排尿に必要な動作がスムーズにできない患者さんもいらっしゃいます。そんなお一人お一人の状態を把握するのも、看護師の大切な仕事だと考えています。患者さんが不安なお気持ちになられないよう十分に配慮し、行っているケアが適切か医師と相談しながら、快適に生活できるようサポートしていきます。

先生方も私たちの話にきちんと耳を傾けてくださり、情報共有しながらみんなで支えていくチームワークができあがっているのが当院泌尿器科の魅力のひとつだと思います。もちろん女性の患者さんがいらっしゃっても、プライバシーに配慮しながら関わらせていただきますので、どうぞ安心してお越しください。

排尿自立を支援する
排尿ケアチーム

泌尿器科米田部長、排尿ケア専任看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、理学療法士でチームを構成。尿道留置カテーテルを早期に抜去し、尿路感染を防ぐとともに排尿の自立を促すことを目的にラウンドとカンファレンスを実施し、患者さんに応じた指導と支援を行っています。

日焼け止めの効果的な使い方

薬剤師の立場から、日焼け止めの使用法と注意点を話します。

薬剤部
津崎 秀斗

●日焼け止めの「PA」、「SPF」って何？

日焼け止めのパッケージなどにある「PA」、「SPF」という表示は、日焼け止めの紫外線防止効果を示す指標。日焼け止めを選ぶには、それぞれの違いを理解しておくことが大切です。

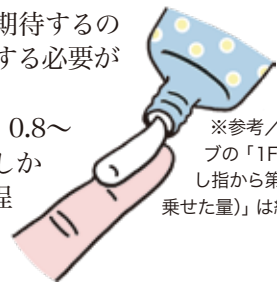
PA 主に色素沈着やシワの原因となるUV-A（紫外線A波）に対する防御効果を表す。「+」から「++++」の4段階で表記。

SPF 主に炎症の原因となるUV-B（紫外線B波）に対する防御効果を表す。「10」から「50+」の6段階で表記。

●日焼け止めの適量ってどれくらい？

「PA」や「SPF」の表記通りの効果を期待するのであれば、2mg/cm²程度の量を塗布する必要があります。

具体的な目安としては、顔だけでも0.8～1.0gほど塗布する必要があります。しかし実際には多くの人が1.3mg/cm²程度しか塗布できておらず、必要量の6割程度しか使っていません。



※参考／50g入りチューブの「1FTU（大人の人差し指から第一関節まで薬を乗せた量）」は約0.74gです。

これでは適切な量に足りない！

日本皮膚学会Q&Aより一部抜粋

●日焼け止めの効果を十分に発揮させるためには？

とにかくたっぷりと塗布することが大原則です。普通の感覚で塗布した場合は必要量の6割程度に過ぎないので、正しい使い方としては規定量、たとえば顔ですと真珠2個分くらいを全体にのばします。また、水泳や汗で流れたり、顔を触ることで自然にとれてしまうことも多々あります。数時間をめやすに塗り直しを行うようにしましょう。塗る場所としては、顔はもちろんですが、意外と忘れやすいのはうなじや耳たぶ、胸、首、手の甲です。これらの部位にもきちんと塗るようにしましょう。

（※屋内、屋外でめやす時間は異なります）



ようこそ臨床検査室へ

【大阪鉄道病院の臨床検査室】



生殖補助医療のスペシャリストとして

生殖医療部門には、婦人科医長坂井医師のもと不妊医療チームとして体外受精専門の技術者である胚培養士2名が在籍。患者さんからお預かりした卵子と精子の受精や受精卵の培養を行っています。小規模だからこそ可能なきめ細やかな取り組みで、高い精度を誇っています。



生殖医療部門では、2人の胚培養士が2週間交代で責任を持ち、ほぼつきっきりで受精卵のお世話をしています。卵子は少しの環境の変化にも敏感なので、ストレスをかけないよう、丁寧に扱うことを心がけています。決して間違いの許されない、緊張と根気が求められる仕事ですが、新しい命の誕生に携われる感動はひとしおです。（藤井）

今回は、生殖医療部門についてご紹介します。

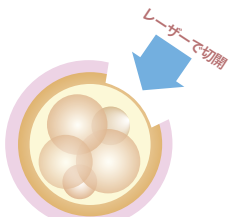
胚培養士 内野義彦・藤井和則

器具も自作する「手仕事」の世界



重要な道具のひとつであるピペットは、より繊細な作業ができるよう、卵子のサイズに合わせて手づくりしています。

レーザーで着床をサポート



当院では必要に応じて受精卵のハッチング（孵化）をレーザーで切開してサポートする「レーザーアシステッドハッチング」を行っています。これも胚培養士の技量が問われる繊細な作業です。

万全の管理体制で凍結保存



当院では受精卵の凍結保存を行っています。特殊な溶液に浸した後、-196℃の液体窒素中で凍結するため、長期間の保存が可能です。

よくある 素朴な疑問にお答えします

地域医療連携室



Q & A

患者さんやそのご家族、その他医療機関からよくご質問いただくことをピックアップしてご回答いたします。

Q. 患者が直接、予約をとることはできますか？

A. 申し訳ございません。患者さんからのご予約を受け付けておりません。当院へのご予約は、必ず、地域の医療機関様を通じてお願い致します。

Q. 地域医療機関からのFAX予約は何時まで受け付けていますか。

A. 平日の午前8時30分から午後7時（土曜日・日曜日・祝日・年末年始＜12/30～1/3＞は除く）です。FAXは24時間稼働しておりますが、時間外・休診日の着信分は翌診療日の対応となりますのでご了承ください。

Q. 医療機関を通じて予約して受診する場合、紹介状はどこに持っていけばよいですか？

A. 1階の4番窓口「入院・地域医療連携室受付」までお越しください。

このほか気になることやご質問がございましたら、気軽にお声がけください。

ただいま成長中！

新人看護師のご紹介

この春より新たな医療スタッフとして看護職員23名が入職しました。まだ至らない点もありますが、プロとしての責任感を胸に職務に向き合っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

MESSAGE

3階病棟 板木 梨瑚

（いたき りこ）

日々の業務を通して知識や技術を着実に身につけたいと思っています。そして、先輩方のサポートを受けながら、患者さんの安心・安全を守り、個別性のある看護を行うことができるよう努めてまいります。

7階病棟 宇治田 紀美

（うじた としみ）

まだ慣れないことばかりで不安になることもありますが、先輩方に学び、助けていただきながら日々成長できるよう精進していきます。患者さんにとって、よりよい看護が提供できるようにがんばります。

